

学習課題(小学校5年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「伝わる表現を選ぼう」（教科書 202～205 ページ）」を学習します。

- (1) 202～205 ページを読み、学習の内容を確認します。そして、内容や言葉は正しいのに、相手に理解してもらえなかったり、あやまって受け取られたりした経験がないか考えてみましょう。
- (2) 202 ページに書いてある例を、一年生向けに書きかえるにはどうしたらよいか、203 ページの①②③を参考にして考え、ノートや取組シートに書きましょう。
- (3) 204～205 ページ「意図に応じた言葉を選ぼう」を読み、どのようなすれ違いが起きたか、どうすればよかったかを考え、ノートや取組シートに書きましょう。
- (4) 205 ページ「言葉や表現に気をつけて、手紙を書こう」を読み、相手と意図をはっきりさせ、それに応じた言葉や表現になるように気をつけて、手紙を書いてみましょう。



書いた相手に、伝えたいことが伝わったのか聞いてみるといいですね。

◆「この本おすすめします（教科書 206～210 ページ）」を学習します。

- (1) 206 ページを読み、学習の進め方を確認しましょう。



この学習では、相手や目的を明確にして、今までに読んだ本の中から、すいせんしたい本を選び、すいせんする文章を書きます。

- (2) すいせんしたい本を選びましょう。

※207 ページ上のだんの吹き出しに書いてあるように、すいせんしたい相手をきめて、本を選ぶ方法もあります。また、本を決めてから、どんな相手に読んでもらいたいかを想像する方法もあります。



(3) 207 ページ「書き出した例」を参考にして、どんな人に、どんな本をすいせんしたいかを考え、ノートや取組シートに書きましょう。

(4) (3)で書き出した内容を、どのような順序で伝えると、相手にぴったりの本であることが伝わるか、すいせん文の構成を考えましょう。

※(3)で理由をたくさん書くことができた人は、理由をしばったりどの理由から書くと、相手に効果的に伝わるかを考えたりしましょう。



(5) 208 ページ「下書きの例」を参考にして、下書きをノートや取組シートに書きましょう。

※書いたものをおうちの人に向けて読んで、意見をもらおうといいですね。



自分が書いた下書きに、「見出し」「本の情報」「本のしょうかい」「すいせんする理由」「よびかけ」が入っているか、たしかめましょう。

(6) 209 ページ「清書の例」を参考にして、ノートや取組シートに清書をします。下のAからCのポイントを読み、清書に生かしましょう。

A…読み手にいちばん伝えたい情報は何かを考えて、書く内容をしぼる。

B…どこに何が書かれているかが分かりやすいように、段落の分け方や書き表し方を工夫する。

C…伝えたいことのがんが相手に伝わるよう、見出しやよびかけを工夫する。

(7) すいせんしたい相手やおうちの人に読んでもらい、感想をもらいましょう。

(8) 210 ページ「ふりかえろう」で学習したことをふり返りましょう。

◆書写「文字の大きさ（書写の教科書 28～29 ページ）」を学習します。

- (1) 28 ページを読み、㊦㊧㊨を見て、用紙に合った文字の大きさになっているのはどれか選び、理由を考えましょう。
- (2) 28 ページの「たいせつ」を読んで、29 ページの「飛行」の文字の大きさと配置について考えましょう。



- (3) 学習したことを生かして 29 ページの「飛行」を手本にして、毛筆で書きましょう。

◆書写「言葉を楽しもう（書写の教科書 30 ページ）」を学習します。

- (1) 30 ページ「竹取物語」を声に出して読み、今まで学習したことがどこに生かせるかを考えましょう。
- (2) 今まで学習したことを生かして、「竹取物語」をなぞりましょう。

◆書写「漢字図かん（書写の教科書 31 ページ）」を学習します。

- (1) 31 ページの漢字は、どうやってできたのかを考えましょう。
- (2) 漢字の成り立ちを意識して、なぞったり、ノートや取組シートに書いたりしましょう。また、国語辞典を使って、今までに学習した漢字の成り立ちを調べ、ノートや取組シートに書きましょう。

◆新出漢字「耕」～「採」をノートや取組シートに練習します。
（読み方や筆順などは、教科書 292 ページに載っています。）

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「伝わる表現を選ぼう」では、相手や意図に応じて言葉を選んで使うことが大切になります。そのためには、相手に正しく伝わったのかを確認することが必要ですので、話を聞いたり、書いたものを読んだりして、アドバイスしてあげてください。
- ・「この本おすすめします」では、相手や目的を意識しておすすめの理由が伝わるように書くことが大切になります。そのためには、すいせんする本の特徴（よさ）をしっかりと集め、伝えたいことが伝わるように書かれているか、アドバイスしてあげてください。
- ・書写「漢字図かん」の学習では、漢字の成り立ちを意識して書くことが大切になります。国語辞典を活用することをお勧めします。